

提出日 2023 年 2 月 16 日

長期戦略:テーマ 「国際化の推進」

担当部署

Ⅱ.実施計画帳

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	国際連携機構(TF 派遣)
-----------------------	---------------	---------------	---------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(6)-④ (SGU2-1-4) (SGU2-1-4) 留学奨学金(補助金対象外)	2014 年度	2023 年度	必要なし	不要
内容				
<p>※本実施計画帳票は今後の海外派遣プログラムを再開していることを前提に計上している。</p> <p>留学奨学金は補助金の対象外ではあるが、SGU 事業としての予算には計上する。＜対象人数、金額は 2023 年度時点の目標値＞</p> <p>[交換留学奨学金] 対象人数:180 名</p> <p>[中期留学奨学金] 対象人数:280 名</p> <p>[短期留学奨学金(新規)] (学部・研究科派遣を含む)</p> <p>(全学実施プログラム)</p> <p>対象人数:最大 1040 名</p> <p>(学部・研究科実施プログラム)</p> <p>対象人数: 最大 750 名</p> <p>[ダブルディグリー留学(DD留学)奨学金]</p> <p>対象人数:12 名</p> <p>注 1) 国際学部には、「国際学部留学奨学金・留学奨励金」制度(国際学部奨学金)あり。</p>				
進捗状況を測る 指標	指標名	定義・算式		
指標1				

3. 実施計画:費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】						
非公開						
経費	2014年度承認	2015年度承認	2016年度承認	2017年度承認	2018年度承認	2019年度承認
非公開						
人員・人件費	2014年度承認	2015年度承認	2016年度承認	2017年度承認	2018年度承認	2019年度承認
非公開						
経費	2020年度承認	2021年度承認	2022年度承認	2023年度承認	2024年度以降	
非公開						
人員・人件費	2020年度承認	2021年度承認	2022年度承認	2023年度承認	2024年度以降	
非公開						

4. 進捗状況・得られた成果

2016 年度	2015 年度に短期留学奨学金規程を設置した。更に中期・交換留学奨学金規程を改正し、ロードマップに定める計画の大半を完了した。
2017 年度	2017 年度に長期留学奨学金規程を設置した。
2018 年度	2018 年度に井谷憲次奨学金規程を設置した。
2019 年度	2019 年度に井谷憲次奨学金規程を改正し、佐伯海外留学支援奨学金の後継奨学金制度として交換留学生への支給を行うことを承認した。
2020 年度	2020 年度に井谷憲次奨学金規程を改正し、オンライン国際教育プログラム参加者への支給を行うことを承認した。
2021 年度	2021 年度に笹森四郎奨学金規程、海外留学特別奨学金規程を設置した。

5. 今後の課題及び方向性

2018 年度	クォーター制科目導入の準備が全学的に整い次第、第 2 クォーター派遣への奨学金規程を新たに設置し、同派遣への奨学金制度の適用を開始する。
2019 年度	クォーター制科目導入の準備が全学的に整備されていく場合は、第 2 クォーター派遣への奨学金規定を新たに設置する。
2020 年度	佐伯海外留学支援奨学金に代わる奨学金制度の検討と奨学金規程を設置する。
2021 年度	オンラインでの国際教育プログラムに対して支援するため、井谷憲次奨学金規程を改正(2020 年度中に完了)。 笹森四郎奨学金(仮称)規程を新たに設置する。
2022 年度	グローバルリーダー育成「海外大学院派遣奨学金」に代わる奨学金制度の検討と奨学金規程を設置する。(2021 年度から検討開始)
2023 年度	グローバルリーダー育成「海外大学院派遣奨学金」に代わる奨学金制度の募集を開始する。

6. 学院総合企画会議の基本方針

2014 年度	<p>奨学金(交換留学)については、当初予算にて計上済。</p> <p>奨学金(中期)については、当初予算にて計上。</p> <p>奨学金(短期)については、＜保留＞。2015 年度前期に検討予定です。今後始まる奨学金WGでの議論と関連する可能性があります。(派遣者数が計画どおりに増加した場合、10 年後には学部・研究科の分も含めて当該費用は膨れるため、奨学金の効果、他大学の状況、開始時期、試行の可能性、事前調査の必要性などを十分に検討する必要があります)。</p> <p>奨学金(DD 留学)については、当初予算にて計上済。</p> <p>奨学金(学部分)については、＜保留＞。2015 年度前期に検討予定です。また、今後始まる奨学金WGでの議論と関連する可能性があります。</p>
2015 年度	<p>奨学金(交換留学、短期、DD 留学)については、申請どおり計画を承認します。</p> <p>※奨学金(短期)については、支給対象者の単位取得状況等の追跡調査を行ってください。</p>
2016 年度	—
2017 年度	—
2018 年度	<p>奨学金の内訳は、2月の予算追加申請時には各プログラムの派遣者数見込みに基づいて変更する可能性があります。</p> <p>奨学金(DD 留学)は、2019 年度支給者数見込(5.5 人)に基づいて計上しました。</p> <p>奨学金(国連外インターシップ)は、帳票 3_1 の学生インターン派遣補助に対応。</p>
2019 年度	—
2020 年度	奨学金(短期)については、申請額のうち一部は SGU 推進費で対応します。
2021 年度	<p>奨学金(交換留学)については、コロナ禍の留学状況を鑑みて前年度同額で予算化します。追加予算申請時には実態に合わせて予算申請してください。なお、不足がある場合は予算外で対応します。</p> <p>奨学金(短期)については、コロナ禍の留学状況を鑑みて前年度同額で予算化します。別途、SGU 推進費でも予算化します。追加予算申請時には実態に合わせて予算申請してください。なお、不足がある場合は予算外で対応します。</p>
2022 年度	<p>奨学金(交換留学)については、2019 年度同額で予算化します。</p> <p>奨学金(短期)については、前年度同額で予算化します。</p> <p>奨学金(DD 留学)については、継続学生 2 名分と新規学生 2 名分を予算化します。</p>

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・派遣者数増加のため、奨学金規程の改正などを行った。 ・COIL 型プログラムの支援策が必要である。 	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・COIL 型プログラム支援のための奨学金制度の検討

【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	